

# AI戦略2019【教育改革に向けた主な取り組み】

デジタル社会の「読み・書き・そろばん」である「**数理・データサイエンス・AI**」の基礎などの必要  
な力を**全ての国民**が育み、あらゆる分野で人材が活躍

## 主な取組

エキスパート

### 先鋭的な人材を発掘・伸ばす環境整備

- 若手の自由な研究と海外挑戦の機会を拡充
- 実課題をAIで発見・解決する学習中心の課題解決型AI人材育成

応用基礎

### AI応用力の習得

- AI×専門分野のダブルメジャーの促進
- AIで地域課題等の解決ができる人材育成（産学連携）

### 認定制度・資格の活用

- 大学等の優れた教育プログラムを政府が認定する制度構築
- 国家試験（ITパスポート）の見直し、高校等での活用促進

### 学習内容の強化

- 大学の標準カリキュラムの開発と展開（MOOC※活用等）
- 高校におけるAIの基礎となる実習授業の充実

### 小中高校における教育環境の整備

- 多様なICT人材の登用（高校は1校に1人以上、小中学校は4校に1人以上）
- 生徒一人一人が端末を持つICT環境整備

## 育成目標【2025年】

トップクラス育成  
100人程度/年

2,000人/年

25万人/年  
(高校の一部、高専、大学の50%)

50万人/年  
(大学・高専卒業者全員)

100万人/年  
(高校卒業者全員)  
(小中学生全員)

## 【資料2】

### 京都ノートルダム女子大学 3つのポリシー（2023年度入学者）

（社会情報課程）

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 （ND6）		ディプロマ・ポリシー （卒業認定・学位授与方針）	カリキュラム・ポリシー （教育課程編成・実施方針）	アドミッション・ポリシー （入学者受入れ方針）
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立・自律した健康な女性	キリスト教精神・女性教育	DP1. 自分を育てる力	キリスト教精神に基づいて豊かな人間性と奉仕の精神を養い、情報を文化・生活環境・心理・教育の側面からとらえ、よりよい暮らしの創造や地域社会の実現に貢献できる態度を身につけている。	共通教育科目におけるキリスト教精神や女性の生き方についての学びに加えて、1,2年次では大学で必要なら学びの基礎と、情報の活用に関する基礎的な学びを实践的に修得する基盤となる科目として「社会情報基礎演習」「社会情報発展演習」を配置する。さらに、3年次には「社会情報演習」を配置し、それぞれの専門性を高めるとともに、自己の描くキャリアを具体化させる知識と態度を養成する。	〔期待する能力〕 社会に貢献できるよう自分を高めたいと考え、情報を活用し自分の生活や人生を主体的に築いていく意欲をもっている人。 〔選考方法〕 面接、自己記入書(志望理由書,自己アピール)、調査書、レポート
人間やその生活,社会,自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ,新たな理解を行い,自己涵養に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	社会情報・情報科学・データサイエンス・AI(人工知能)および4学科の関連領域に関する幅広い知識を身につけ,暮らしや社会の貢献に関わる多様な課題を理解できる力を身につけている。	1年次では,基礎的な情報の知識を深めるため「社会情報概論」「情報の科学と倫理」を始め,社会情報・データサイエンスについて総体的に学ぶ社会情報基礎科目を中心に配置し,2年次以降は,段階的に専門的知識が修得できるよう社会情報展開科目等の科目群を配置する。	〔期待する能力〕 入学後の就学に必要な基礎学力としての知識や理解力を有するとともに,情報や数理を,自ら積極的に学び知識を身につけたいと考えている人。 〔選考方法〕 学力試験,レポート,調査書
グローバル化の時代に対応し,外国語および日本語で,国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP3. 言語力	多様化,複雑化する現代社会が抱える諸問題を社会情報の視野から解決へと導くために,日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。	共通教育科目で多言語に関する能力を養うとともに,専門科目においてはグループディスカッションを重ね,他者とのコミュニケーションを図りながら社会問題に対して協働で探究する科目を配置する。	〔期待する能力〕 基礎的な国語力・英語力を有し,学んだ知識や技術を用い,言語を介して積極的に他者と関わることに関心がある人。 〔選考方法〕 面接,自己記入書(志望理由書,自己アピール),調査書,レポート
現代社会のさまざまな課題に対して,知識や現象を分析し,適切な情報処理を行って,批判的,論理的に思考し,問題解決を行う力を身につけた女性		DP4. 思考・解決力	現代社会のさまざまな課題に対して,人の生活を社会情報やデータサイエンスの側面からとらえ,生活のあり方や生活における情報の扱い方の本質を探り,より良い方向を見出す力を身につけ,4学科に関する専門的な知識と技術を根拠として用い自他の課題を解決するために活用できる。	社会情報基礎科目で身につけた基礎的知識を基盤に,現代社会の多様な課題を見極め,解決するための方策を考え,実行可能な技術や技能を身につけるために4学科の展開科目,関連科目を広く履修できるようにし,「社会情報フィールド研修」「社会情報インターンシップ」などより社会に密接した実践的な科目を配置する。	〔期待する能力〕 社会の情勢に関心を持ち,生活をより良くするために,身につけた知識や技能を活用し社会に貢献したいと考えている人。 〔選考方法〕 面接,自己記入書(志望理由書,自己アピール),調査書,レポート

他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	DP5. 共生・協働する力	社会の現状を社会情報やデータサイエンスの側面からとらえ、一人ひとりの人間をかけがえのない存在として尊び、対話を中心に、他者に共感でき、多様な課題を抱える人に寄り添う態度を身につけ、他者と協働しながら関わる支援者としての技術を身につけている。	「社会情報基礎演習」「社会情報発展演習」において基礎的な共生・協働の力を養い、4学科のさまざまな実践経験をに基づく学びを踏まえ、4学科の学生とも活動する力を養うことを目的として「社会情報演習」「社会情報フィールド研修」などの実践的科目を配置する。	〔期待する能力〕 対話やコミュニケーションを軸に周りと協力しながら、相手の立場に立って物事を考えようと努力し、行動したいと考えている人。 〔選考方法〕 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール) 調査書、レポート
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	統合的な学習経験と総合的思考力	DP6. 創造・発信力	社会の現状を社会情報やデータサイエンスの側面からとらえ、総合的な学修経験を必要に応じて新たな価値の創造に取り組み、その成果を適切に発信する力を身につけている。	社会情報・データサイエンスおよび4学科の専門的かつ実践的な学修経験を経て、その学びを新たな提案や作品制作の形でまとめ、学修成果として発信する力を育てるため、学外におけるインターンシップや卒業研究の科目を配置し、創造・発信の力を養う。	〔期待する能力〕 より良い情報社会の創造に関わり、自分の考えを発信したいと考えている人。 〔選考方法〕 面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート

(全学共通部分)

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針)	カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッション・ポリシー (入学者受入れ方針)	
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立・自律した健康な女性	キリスト教精神・女性教育	DP1. 自分を育てる力	キリスト教精神に基づいて他者と自分を尊ぶ全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立・自律した女性として健康に生きていく態度を身につけている。	共通教育科目では、キリスト教精神に基づき、豊かな人間性と良識、さらには他者への奉仕の精神を育てるためのベースとなる「カトリック教育」に関する科目を1・2年次に配置し、必修および選択必修を合わせて6単位以上とする。さらに、自立・自律した女性として健康に生きていく態度を身につけるための「女性」および「健康」に関する選択科目を配置する。	〔期待する能力〕 本学の建学の理念であるキリスト教精神に触れ、理解しようとする。他者や社会に奉仕する中で自己の人格を高めようとする。
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけるとともに、それらを基にさらに新しい事柄を理解する力を身につけている。	共通教育科目では、幅広い知識と教養を身につけるため「人間と文化」「生活と社会」「人間と自然」の3領域からなる教養科目を配置し、各領域2単位(社会情報課程は4単位)以上を選択必修とする。(さらなる専門的知識とその理解力を養うため、各学部学科の専門領域の概論等に関する科目を配置する。)	〔期待する能力〕 高等学校における学習内容を基礎として、各専門分野に資する知識と理解の土台がある。
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々と円滑にコミュニ	汎用的技能	DP3. 言語力	国籍や言語の異なる人々と共に生きていくために必要な、日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力をひととお	共通教育科目では、言語コミュニケーションスキルと読み書き能力を育成するため、母語である日本語、英語および他の言語についての科目	〔期待する能力〕 高等学校卒業程度の国語力を持ち、英語などの外国語で読み、書き、聞く、話す意欲がある。

<p>ケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性</p>			<p>り身につけている。</p>	<p>を継続的に学べるように段階的に配置する。そのうち日本語については、日常の文書作成に必要な読み書きの基礎から研究論文執筆をにらんだアカデミックライティングの探求科目まで配置する。英語や他の外国語については、1～2年次に週2回授業を行い定着を図る。（さらに、専門性に応じた言語力を育成するため、各学部学科の専門教育科目を配置する。）</p>	
<p>現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性</p>		<p>DP4. 思考・解決力</p>	<p>現代社会のさまざまな課題に対して、分析、情報処理を行い、批判的、論理的な思考によって解決しようとする力を身につけている。</p>	<p>共通教育科目では、思考の礎となる教養を教養科目から身につけるとともに、情報処理については、その考え方の基礎から応用、発展までの科目を配置する。（現代社会のさまざまな課題を解決するための思考力・問題解決力を育成するため、各学部各学科の専門教育科目を配置する。）</p>	<p>〔期待する能力〕 課題について粘り強く考えようとし、広い視野をもって、自らの考えを柔軟に評価・修正できる</p>
<p>他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性</p>	<p>態度・志向性</p>	<p>DP5. 共生・協働する力</p>	<p>さまざまな他者と共生・協働するために必要な力を身につけている。</p>	<p>共通教育科目では、社会の中でさまざまな他者と共生・協働するために必要な力として、キャリア形成に関する科目、他者との関係づくりに必要な「ホスピタリティ」を学ぶ科目、および実際の協働へと結びつける「ボランティア」に関する科目等を配置している。 （さらに必要な知識や理論を学べるように、各学部共通科目や各学科の専門教育科目に多くの科目を配置する。）</p>	<p>〔期待する能力〕 人と協力してともに問題解決をしようとする意欲を持ち、集団での活動経験（部活動、課外活動、ボランティアなど）を活かし、様々な学習に能動的に参加できる。</p>
<p>総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性</p>	<p>統合的な学習経験と総合的思考力</p>	<p>DP6. 創造・発信力</p>	<p>総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信することができる。 （専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信することができる。）</p>	<p>（実践的に他者や社会に対して、自らの学習成果を創造的に発信することができる科目として、各学部学科の専門教育科目卒業研究等の科目を配置する。）</p>	<p>〔期待する能力〕 自らが学習したことを他者に明確に説明しようとし、さらに学習を通じて新たなアイデアやものを創り出そうとする。</p>



【資料3-2】社会情報課程 履修モデル

社会情報課程 履修モデル

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位数					
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名				
教養科目	日本文学	2	日本語現代史	2							4			
	暮らしの法社会学	2	暮らしの経済学	2							4			
基礎科目	身近な自然科学	2	身近な自然科学	2	AIとデータサイエンス入門	2					4			
	英語表現 I 英語表現 II コア語 I コア語 II 文章作成法 I 文章作成法 II	1 1 2 2 1 1	英語表現 II 英語表現 II コア語 II 健康スポーツ演習 文章作成法 II	1 1 2 2 1 1	英語実践(4技能) I 英語実践(4技能) II	2 2					12 16			
基礎科目	キリスト教概論	2	キリスト教概論	2							6			
	キャリア形成論	2	キャリア形成ゼミ(通年) ノートタム学 子育てとワークライフバランス	1 1 1	キャリア形成ゼミ(通年) 女性とライフキャリア	1 2	キャリア形成	2			8			
社会情報基礎科目 (8+12)	社会学入門 社会情報基礎演習 I 社会情報基礎演習 II プログラミンク演習 暮らしの統計学	2 1 2 2 2	社会学入門 社会情報基礎演習 I 社会情報基礎演習 II プログラミンク演習 暮らしの統計学	2 1 2 2 2	情報処理 社会情報発展演習 情報技術リテラシー	2 1 2	AIとデータサイエンス プレゼンテーション概論 ICTビジネス論	2 2 2	インターネット社会論 ICTビジネス論	2 2	28			
	情報演習 I a 情報演習 I b	1	情報演習 II アカデミック・ライティング 社会情報フェイワード研修(通年)	2 2 1	情報演習 I アカデミック・ライティング 社会情報フェイワード研修(通年)	2 2 1	情報演習 I アカデミック・ライティング 社会情報フェイワード研修(通年)	2 2 1	情報演習 I アカデミック・ライティング 社会情報フェイワード研修(通年)	2 2 1	14			
社会情報実践科目 (9)			国際日本文化領域		国際日本文化論	2					2			
			生活環境領域		現代社会と家庭経営 消費生活	2 2	ライフプランニング論 ビジネスの基礎 II 服飾心理学	2 2 2	マーケティング論 家族社会学 女性起業論	2 2 2	20			
社会情報連携科目 (12)			心理領域		消費者行動の心理学	2					4			
			教育・ こども領域								2			
専門演習・卒業研究 (12)			専門演習・卒業研究 (12)								12			
			卒業研究								4			
学際教育科目											0			
計		20		21		22		23		11	15	7	5	124

注) 長期休業期間に実施される集中科目はCAP制の適用外

【資料4】

学内関係組織とキャリア支援体制

